（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども家族みらい応援団　オバフロ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和8年8月18日	～	令和8年9月7日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	18	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	令和8年8月27日	～	令和8年9月17日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年10月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【適切な支援の提供】 ・個別支援計画の作成（こどもの最善の利益を考慮した検討） ・活動プログラム ・打ち合わせや振り返り	・時間をかけてアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成、全職員が共通理解の下で、計画に沿った支援を行っている。 ・活動プログラムを複数案用意し、その日の子どもたちやその様子に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援を行っている。	・個別支援計画作成の研修受講等検討。 ・支援内容をどう実行していくか等々更に掘り下げ、共通理解を高めていく。 ・職員一人ひとりがこどもの適応行動の状況を把握し、全職員が共通して適切な支援を行えるよう知識・技術等々個々の資質の向上を図る。
2	【環境・体制整備】 ・指導訓練室等の広さを確保 ・基準以上の職員を配置 ・こどもたちが清潔で、心地よく過ごせる環境作り	・指導訓練室の広さを確保し、活動ごとに机のレイアウトを変更するなど活動しやすいように工夫するとともに、職員の配置人数を充実させ、職員同士連携をしている。 ・利用の都度、清掃や消毒を行い、子どもたちが清潔で、心地よく過ごせる環境作りをしている。	・個室がないため、必要に応じたパーティションの設置等、こどもたちが落ち着ける場所の確保等検討。 ・更に充実をはかるため、職員の新規採用も検討。 ・こどもたちが見て分かる【視覚支援】への取り組み強化。
3	【保護者への説明等】 ・こどもや保護者の意向を確認する機会の設定 ・保護者との面談や情報共有等	・定期的に面談を実施、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けている。 ・SNSや連絡帳アプリ等を使用して、情報を発信し、保護者とこどもの状況を伝え合い、情報を共有している。	・更に相談しやすい環境を作り、保護者との人間関係を構築し、困りごとはないか等々、事あるごとに確認していきたい。 ・保護者会や各種イベント等を実施、保護者同士や保護者と職員が更に関われる機会を設けていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニング等ご家族に対する家族支援プログラムやご家族で参加できる研修会等が実施できていない。	・ご家族で参加できる研修会等実施するとなれば、サービス提供時間外である毎週木曜日の午後や土日祝である。 ・木曜日の午後に保護者交流会を実施したが、やはり平日の日中ということで参加者は少なかった。 ・土日祝等営業時間外に出勤できる人員の不足。	・新規採用等による土日祝に出勤できる人員の確保。 ・安全に研修会等を実施することができる体制作り。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が図られていない。	・事業所の行事に地域住民を招待する環境、体制が整備されていない。	・広報啓発活動の実施。 ・自治会を通じて、地域で開かれる祭りや事業所の行事に地域住民を招待する等して、地域住民と交流する機会を増やしていく。
3			